

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
1 実践1 【今、わたしの できること】 (第4学年総合的な学習の時間)	市の社会福祉協議会から福祉機器を借用した。数人のグループに分かれ、校舎内で実際に福祉体験を行った。福祉機器を使用している人の立場になって体験したり考えたりする中で、「共に生きることの大切さ」を実感して欲しいと考える機会を設定した。
	成果 障害がある人、ない人という考え方ではなく、同じ人として地域社会に生活していくこの大切さを考えることができるようになった。日常生活の中で、福祉用具を使用している方を見かけたときには、「ぜひ声をかけてみたい。」と自分の考えを再確認することができた。
	課題 学習したことを生活の中でどのように実践していくのかが大きな課題となっている。
2 実践2 【人権学習会】	DVD 視聴 低学年（1人ぼっちの狼と7ひきの子やぎ） 優しい心で人に接すれば、その人もきっと優しい心で接してくれる。この作品を見た子供達が、そんな優しい心の人に育ってくれることを願う作品になっている。 中学年（ココロ屋） 主人公ひろきは、友達とケンカをしてしまい、先生に「心を入れ替えなさい」と言われてしまう。うまくいかない自分の心をもてあましているひろきの前に、謎の「ココロ屋」が現れる。ひろきは早速、「優しい心」に心を入れ替えてもらうが・・・・・・ ひろきの満足する心はどこにあるのだろう。主人公が自分にふさわしい心を見つけ、心を育てていこうとする過程を描いている。 高学年（毎日がつらい気持ちわかりますか ゆるせないネットいじめ） 子供達にも分かりやすいアニメで、相手の顔が見えないインターネットのいじめがどれだけ友達の心を傷つけるものなのかを描き、いじめは絶対にしないように訴える。
	成果 (低学年) DVD を視聴して、これからどんな心を大切にしていきたいかを考えることができた。 (中学年) DVD 視聴を通して、今の自分を振り返る時間を設定し、「自分のよいところ、悪いところ」を記入させた。自分自身には何が足りないのかを考えることができた。 (高学年) リストカットのシーンがあることを事前に担任に伝えておき、視聴のポイントを明確にしてから視聴するように職員間で共通理解を図った。DVD 視聴を通して、インターネットもいじめに関連していることにも気づき、考えることができた。
	課題 自分自身の行いを振り返るだけで終わらず、自分の存在はかけがえのないものであることに気付かせていく必要がある。